

# きょうとう No.1



## 真庭市地域学校協働活動推進員研修会 ~つながりづくり&日々の活動情報交換~

津山教育事務所では、国や県が求める「**地域と学校の連携・協働**」推進の一つとして、**地域学校協働活動推進員（以下、推進員）の委嘱**を進めています。令和4年度末時点で、**管内小中学校で88%(91校/104)、小87%(66校/76)、中89%(25校/28)が委嘱を完了**し、令和5年度初めには、さらに委嘱を完了する学校が増える予定です。今回は、この推進員委嘱を進めると同時に、「推進員同士のつながりづくり」と「日々の活動についての情報交換」を行い、養成の視点をもった研修会を開催した真庭市の取組を紹介します。これからの「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進」に向け、ぜひ参考にしてください。



【行政説明】真庭市教育委員会生涯学習課より、真庭市として地域学校協働活動推進員に求める役割や考え方について説明がありました。これからの方向性や役割について確認しました。



【対話体験】対話の手法「トーク・フォークダンス」について知り、実際に参加者で体験してみました。「傾聴」の姿勢で、楽しく対話が進むこの手法を体験を通して実感しました。



オンラインでのグループ交流も行いました。



ファシリテーター  
西川 正 さん  
(真庭市立中央図書館長)



【グループ交流】「今、自分が行っている活動」や「困っていること」等について交流しました。「推進員の役割とは?」「活動の拠点はある?」「連絡方法は?」「ボランティアさがしは困ってない?」等、推進員同士がリアルな情報を交流しました。

当日、教育長の御挨拶の中で、「**推進員同士が仲間としてつながり合い、温かいネットワークをつくってほしいこと**」「**学校ごとに状況は異なるが、できることから取り組んでほしいこと**」等、直接、参加者に思いを語られていたことが、非常に印象的でした。

今回の研修会では、**次年度に委嘱予定の推進員や活動に関心をもたれている方**も含め、計17名が参加されていました。

オンラインでの参加も可能とし、ハイブリッドで開催することにより、**参加者の学びや情報交流の機会を確保**されていました。「つながりづくり」を大切にしながら、人材育成・養成研修の視点を盛り込んだ、一歩進んだ研修の実施は、今後の真庭市での「地域と学校の連携・協働」のさらなる推進へとつながる取組です。他市町村あるいは中学校区等、実態に合った方法や内容で開催することも可能と考えています。

**「今あるものを活かし、できるところから始める」**一歩、踏み出してみませんか。【問合せ先】津山教育事務所 生涯学習課 0868-24-8703